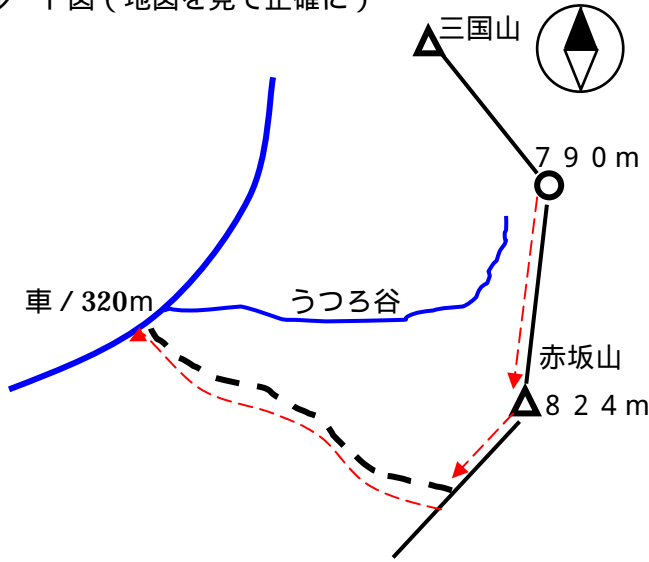


09月度例会 個人		山行報告書		報告者	町田 修	参加 メンバー	CL:亀山 誠 町田 修 渡辺 勝利
山域		若狭の谷		報告日	10/10		
山名		赤坂山 うつろ谷		山行日	07年 09月 15日(土)		
山行目的		沢登と親睦登山		コースタイム(天候:天気図記号)			

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



2.5万分の1地図:「駄口」「三方」

09/15 愛知県(雨)
福井県(曇り)
06:20 刈谷発

09:30 出合着
320m
10:00 出発
490m
10:40
570m
11:10
790m
12:30
赤坂山
13:07
320m
13:58 着

山行報告

集合場所の養老S・Aをパスして賤ヶ岳S・Aで各社と合流する。関ヶ原辺りでは本降りの雨が北上するに連れて上がり、美浜の辺りでは薄日も差して来た。耳川の支流をつめPRIUSの腹底が限界になったころ出合に着く。ヘルメット・ルネ・溪流足袋に身支度して右岸の岨道を堰堤上部まで辿る。ここから沢の中を各社の元気どころが“じゃぶじゃぶ”駆け上っていく。程よい階段状の滝・ちょっと微妙なスリッパの滝・二日酔いでは話にならないバランスが必要な釜の上に架かる流木ブリッジ等々を皆さんダレ外にハイブレードでこなしていく。ヤバそうな所は上部から中研メンバーが長めのシュリンクでサポートもある。

出会いからの標高差は500mだから、そんなに急ぐ必要はまったく無いのだがセブは効かない。一時間ほど歩いて休憩を入れる。殿の渡さんが口を半開きに現れた頃にはトップは戦闘開始状態である。ここは戦略を切りかえて、以降ゲソは渡さんペースで沢を楽しみながらゆっくり登ることにする。2・3の分岐を地図で確認しながら高度を上げ、稜線まじかのブッシュをしばらくかき分けて登山道に出る。P790mからは琵琶湖が見える。短時間の遡行だったが楽しい沢登りだった。各社には悪いが亀さん持参のラーメンを食べてから赤坂山を越えて顕著な登山道を駆け下りる。

「短い沢、そんなに急いでどこへ行く」さすがに全トの精鋭達でこの私の思いなど吹く風の速さでどんどん突き進む。こちらは久しぶりの沢登りで、ヘルメットもフェルト靴も新調してきたのに楽しむゆとりさえない。

途中でペースダウンしてからは漸くあたりを見回す余裕も出てきた。沢は小滝の連続で面白く登れるルートであり、沢登り初心者には格好のゲレンデになりそうだ。とにかく楽しい一日であった。亀、町ちゃんに感謝! <渡辺>

リーダー所見 今回の全ト合同合宿は、福井県西部、若狭の谷で、4社15名の参加での沢登りであった。沢は予想通り、滝の連続で溪流靴のフリクションと身体の微妙なバランスを要求され、私たちをしっかりと楽しませてくれた。昨年に続き良い谷を紹介してもらい、参加した甲斐があった。次は、我が部の大勢で遡行できることを期待したい。その時が楽しみである。



確認
(リーダー)

亀

07/10/10

山

作成
(報告者)

町

07/10/09

田